News Release

2026 年 11 月 13 日
株式会社コア
株式会社ラムダシステムズ

言葉を越えてつながる・伝わる、リアルタイム翻訳テロップシステムの新製品「同時翻訳テロッパー」の発売について

株式会社コア（本社：東京都世田谷区、代表取締役 社長執行役員：横山 浩二、以下 当社）は、当社の連結子会社である株式会社ラムダシステムズ（本社：東京都世田谷区、代表取締役社長：田村 謙太郎、以下 ラムダシステムズ）が、音のユニバーサルデザイン実現のためのテクノロジーおよびサービス群である「SoundUD」を開発・提唱するヤマハ株式会社（本社：静岡県浜松市、代表執行役社長：山浦 敦、以下 ヤマハ）と、音声認識・自動翻訳からテロップの作成・送出までを連携させるリアルタイム翻訳テロップシステム「同時翻訳テロッパー」を共同開発し、2027 年春に販売を開始する予定ですので、お知らせいたします。

1. 開発の経緯

日本を訪れる外国人旅行客の数は年々増加しています。また、国内で労働に従事し生活をする外国人も多く、特に災害時の情報連絡などは多言語による緊密なフォローアップが課題となっています。

一方で平時においては、エンターテインメントやスポーツの分野を中心に国際交流が盛んになっています。

そのような中、１：１のコミュニケーションツールとして、さまざまな音声翻訳アプリが普及していますが、外国語発話者の発言を大勢に向けてリアルタイムに翻訳・伝達するシステムはまだ発展途上といえます。

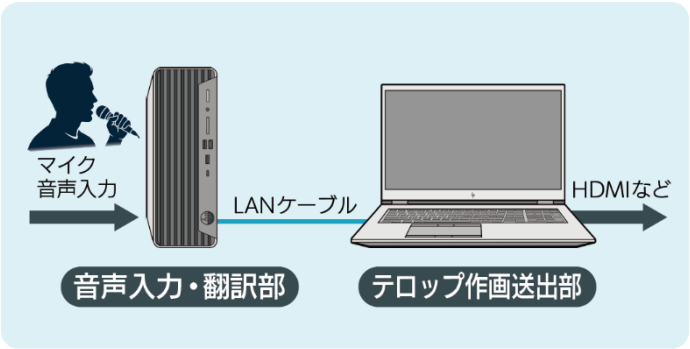
ラムダシステムズは創業以来 40 年以上にわたる独自の自動作画技術により、翻訳テキストから視認性が高く美しいテロップへと瞬時に生成することが可能です。イベントに、映像配信に、「同時翻訳テロッパー」が会場全体を一体感に包みます。

2. 製品の特長

（１）シンプルな機器構成で設置が容易

機材は、最小構成で音声入力・翻訳部とテロップ作画送出部の２つのみ。出力は HDMI や HTML が標準となりますが、オプションで HD-SDI や NDI も選択可能。オープンソース配信ソフト「OBS Studio」と組み合わせれば、ライブ配信でも同時翻訳テロッパーをお使いいただけます。

＊OBS Studio（Open Broadcaster Software®）は、GPLv2 ライセンスのもとで開発・提供されているオープンソースソフトウェアです。
OBS®および OBS Studio® は OBS Project の登録商標または商標です。



（2）ヤマハとの共同開発による音声認識・自動翻訳機能との連携

本システムは、ヤマハとの共同開発により、ローカル環境で動作する音声認識・自動翻訳機能と、ラムダシステムズのテロップ自動作画・送出システムを連携しています。音声認識・自動翻訳によって得られたテキストをテロップとして自動生成し、リアルタイムに表示することができます。

YAMAHA Make Waves × Lambda Systems

（3）費用面でも安心

本システムは従量課金やサブスクリプションサービスではありません。音声認識・自動翻訳機能のライセンスは機材にバンドルされていますので、導入したその日から好きなだけお使いいただいても利用料は追加でかかりません。

（4）インターネット未接続で使用可能

音声認識・自動翻訳機能はローカル環境で動作するため、設置先でインターネット環境を用意する必要がないというメリットがあります。外部回線に依存せず利用できます。

（5）今後、対応言語は順次拡張予定

英語－日本語間の翻訳対応を皮切りに、今後、韓国語・中国語・タイ語など各国の言語に拡張予定です。

（6）「魅せる文字」のノウハウ(※)が凝縮

ただ画面に文字が表示されるだけではありません。放送用テロップシステムで培った「魅せる文字」のノウハウが、会場の熱気をさらに盛り上げてくれます。話者ごとに文字の色や装飾を変更したり、誰の発言かわかるようにアイコンを付けて表示するなど直感的に楽しめるアイデアがいっぱい詰まっています。

※特許第 6707621 号および特許第 6760667 号（日本）、TWI752395B および TWI765230B（台湾）、US11330340B2 および US11809818B2（米国）、他 1 件特許出願中

■使用イメージ（実際のものとは異なります）





3. 発売日、販売価格

2027 年春（予定）、価格はお問い合わせください。

■株式会社コアについて

株式会社コアは、「ソリューションプラットフォーマー」として、ICT を通じて社会や産業の課題解決に取り組んでいます。企画・設計から開発、運用・保守までを一貫して提供する技術力を強みに、お客様のビジネスモデルの進化を支え、持続可能な価値の創出に貢献しています。https://www.core.co.jp/

■株式会社ラムダシステムズについて

電子テロップシステムのパイオニアとして、1984 年に創業。ハードウェア・ソフトウェア一貫開発を強みに事業を推進。高品質で使いやすい製品に加え、斬新かつ柔軟なカスタマイズ対応と万全のサポートで、常にお客様の一番近くで、確かな信頼性をもってニーズにお応えし続けております。https://www.lambda.co.jp/

■ヤマハ株式会社について

音・音楽を中心にした事業を通じて磨いてきた感性と多彩な技術を融合し、楽器、音響機器、その他（部品・装置など）の領域でグローバルに事業を展開しています。https://www.yamaha.com/ja/

■SoundUD について

ヤマハ株式会社が開発・提唱する「SoundUD」は、「音のユニバーサルデザイン化」を実現するテクノロジーおよびサービスの総称です。株式会社ラムダシステムズは「SoundUD コンソーシアム」に参加しています。https://soundud.com/

■投資家の皆様へ

本プレスリリースは、当社の定性的な業務進捗をお知らせするためのものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の業績・経営指標の進捗・予想に関しては、決算短信等をご参照ください。

お問い合わせ先

■本製品に関するお問い合わせ先

株式会社ラムダシステムズ　　TEL：03-5787-3366　　E-Mail：salesd-ml@lambda.co.jp

■報道関係に関するお問い合わせ先

株式会社コア 経営推進室　　TEL：03-3795-5111　　E-Mail：coo-office@core.co.jp